

織染加工



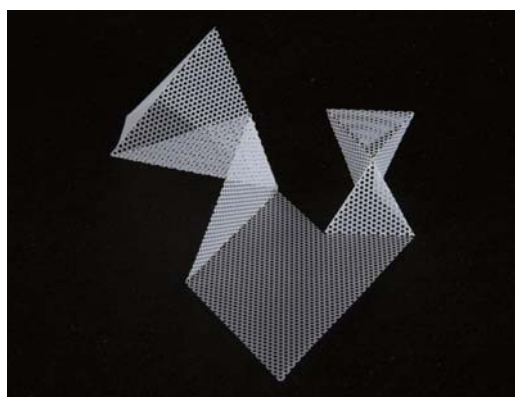
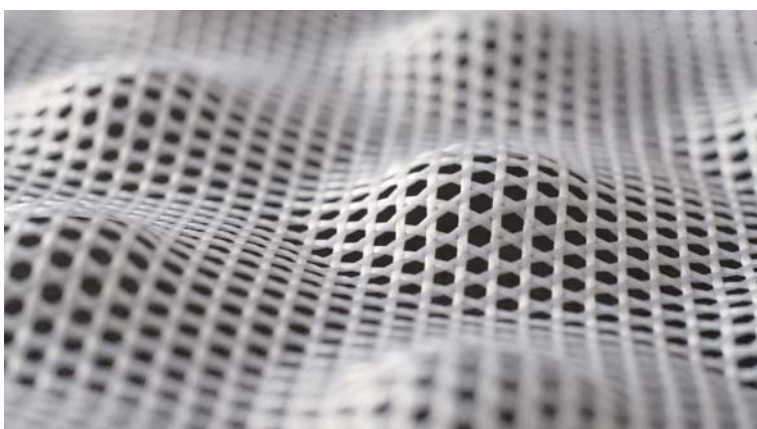
●三軸織物複合材料

サカセ・アドテック株式会社

▶TEL: 0776-66-2115 FAX: 0776-66-0173

ここが
スゴイ!世界で唯一、三軸織物を企業化
人工衛星のアンテナ材、高性能スポーツ用具の部材などに活用

三軸織物とは繊維などの素材を縦、横、斜めの三方向に編む組織のこと。安定構造の正六角形の集合体で、あらゆる方向からの力に対し等方性を有することが特徴。同社は世界で唯一、三軸織物の企業化に成功し、世界の商用人工衛星で用いられるアンテナ材の6割を供給する。また、宇宙開発で得られた三軸織物複合材の研究開発成果をもとに、新たな高性能スポーツ用具なども生み出している。



三軸織りは安定構造の正六角形の組織

事業概要と躍進の契機

三軸織物の宇宙開発での成果をもとに用途を拡大

平成4年頃から、丈夫で型崩れしない三軸織物の特長を活かし、軽量化した素材の開発を進め、人工衛星のアンテナ材料として採用され、宇宙分野への参入を図った。その後、単に素材を提供するだけでなく、製品・サブシステム事業への進出を図るため、次世代の宇宙構造物構築技術である「宇宙インフレイタブル構造技術の研究」に着手し、我が国初の宇宙実証に成功した。

これらの成果が、スポーツ資材やスーツケース素材の開発などに応用されている。

会社の強み・主力商品など

瞬時の形状復元力や軽量化といった三軸織物の強みを活かした製品開発

高性能スポーツ用具が使われるダイナミックな極限領域において、「しなり」「戻り」「つぶれ」「振れ」といわれる用具への負荷から瞬時に形状を復元する機能が求められており、例えばゴルフの「飛んで曲がらないシャフト」、釣り竿では「遠くに正確にリリースできる竿」などの材料を開発した。また、世界最軽量(1.5Kg)機内持ち込みカバンでも三軸織複合材が採用されるなど、より一層の軽量化と強度の向上に貢献している。

今後の事業展開

様々な分野に応用されていく三軸織物の技術

平成19年にはアフガニスタン・バーミヤン遺跡流出文化財の保護・修復に同社の三軸織物が採用されたほか、国宝級の文化財の保存・修復への応用も進められている。三軸織物という世界唯一の繊維製造技術を持った研究開発型企業として、宇宙、スポーツ、インテリア・内装材、産業資材など様々な分野での用途拡大を目指している。

●企業プロフィール

〒910-0363 福井県坂井市丸岡町下安田14-10

代表取締役社長 酒井慶治

設立:1988年(昭和63年)

従業員数:18名

資本金:5,000万円

企業メッセージ

高性能スポーツ用具から宇宙機搭載機器まで高性能を要求される先端分野において研究開発力でお客様のニーズと、社会に貢献できる、小さくとも価値を創造できる企業を目指したいと思っています。

代表取締役 酒井慶治